

## 第5部. 平成28年度実績のまとめ及び代表者による全体の評価と見直し

### 1. 平成28年度実績のまとめ

#### 1. 自らの環境負荷を低減させる取り組み

●清掃センターの基幹的設備改良工事により焼却炉（3号炉）が停止していたため、電気使用量や軽油（重機使用分）、A重油などが基準年度よりも減少しました。本庁舎等ではノー残業デーの完全実施、小・中学校や公民館では利用者（児童等）による省エネ・節水活動が実践され、電気・水道共に使用量が減少につながりました。

●ガソリンは選挙の実施に伴って増え、「庁舎総合整備課」及び「臨時福祉給付金窓口」の設置、制度改正の周知等があったためにコピー用紙の使用枚数も増加しました。

●温室効果ガス（二酸化炭素）総排出量は平成27年度と比べて1,849 t-CO<sub>2</sub>の削減につながりました。

●清掃センターの基幹的設備改良工事完了に伴い、市内の公共施設では太陽光発電設備に加え、新たに風力発電（2 kW）及びマイクロ水力発電（3 kW）を導入しました。

#### 2. 地域の環境保全・創造に向けた取り組み

●「4Rの視点から、循環型社会の構築を目指す」では、クリーン推進課を中心に市民向けのごみ減量に向けた施策を実施しました。

●「谷津・里山や生物多様性の保全推進」では、八千代市の自然を保全するため、市民向けに自然観察会や里山シンポジウム、里山整備ボランティア人材育成講座を実施しました。

●「環境学習の推進」では、子ども環境教室や作品展、市有地ビオトープの「ほたるの里」における環境講座を開催しました。

#### 3. その他

●公共施設及び関係課において、環境関連法規等の遵守を徹底し、環境汚染の予防に努めました。

●各部署の環境目標では、公共施設全体で節電・節水・紙削減等を呼びかけ、保育園や学校、公民館、図書館等では利用者に向けて環境啓発に関するイベントを実施しました。各部署で設定した環境活動目標は継続的に取り組むべき内容が多かったためB判定の部署が多数を占めました。

## 2. 代表者による全体の評価と見直し

### ●評価

平成 28 年度は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいた「八千代市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の改訂に伴い、各部署が、これまでの実施経験を生かし、省エネ・省資源の面にとどまらず、市内にある自然との関わりを生かした環境学習や環境啓発の推進にも重点をおいて、エコアクション 21 に取り組んでまいりました。

その結果、多くの部署における環境啓発の取り組みをはじめ、市民の皆様や事業者のご理解・ご協力により、市内の施設では電気及び水道等の使用量の減少につながり、八千代市全体で環境負荷の低減に向けた取り組みを実践することができたことは、大きな成果だと感じました。

### ●見直し

平成 28 年度における「八千代市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の改訂により、対象範囲、目標、環境方針及び取組項目を見直し、省エネ・低炭素化社会の実現に向けた取り組みを進めることとしました。

本市においては、平成 29 年 3 月に大規模施設である清掃センターの基幹的設備工事が完了したことで、さらなるエネルギー利用の増加が見込まれます。したがって、市全体として地球温暖化を防止するためには、市民、事業所、行政のあらゆる主体による環境を意識した自主的な取り組みと積極的な行動を実施することが不可欠です。

「八千代市第 2 次環境保全計画」の基本理念である「自然と人の暮らしが持続的に調和するまち～次世代に、快適な環境を継承するために～」の実現に向け、今後、行政サービスの向上とともに、環境に配慮した取り組みの普及・啓発の機会を増やしてまいります。

平成 30 年 1 月 16 日      八千代市長      服 部 友 則

**エコアクション21八千代市環境活動レポート**  
**(平成28年度実績)**

平成 30 (2018) 年 1 月発行

八 千 代 市

事務局：安全環境部 環境保全課 環境政策室

〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田312-5

Tel 047-483-1151